



あゆみ

No. 171

令和 5年 6月15日発行

編集 発行：社会福祉法人 啓明会 苓山寮・第二苓山寮
 〒863-0006 熊本県天草市本町下河内680
 TEL 0969-22-5339・0969-22-1766 FAX 0969-22-5090
 E-mail reizanryou@miracle.ocn.ne.jp・reizan2@muse.ocn.ne.jp
 社会福祉法人啓明会ホームページURL <http://keimeikai.amakusa-web.jp/>
 施設の旬の話題を「レイザンTOP.IX」にて更新中です。



『名もなき支援』

施設長 鮎田 一夫

「名もなき家事」という言葉があります。家事と言えば、掃除、洗濯、炊事が主なものとしてイメージされますが、実はその範疇に入らない家事が沢山あります。例えば買物に行ったとします。買物は買ってくれば終わりというわけではありません。食料品は冷凍庫や冷蔵庫へ、トイレットペーパーはトイレへ、衣類はダンスやクロゼットへ、というように分類して仕舞わなければなりません。何を買うか、今日はいくら使うかという計画から最後に片付けるまでが「買物」という家事に含まれるのです。（と妻からいつも言われます）恥ずかしながらもトイレットペーパーをトイレに持っていくまではしますが、トイレの棚に並べて片付けるところまではしていませんでした。それを私以外の誰かが（といっても妻しかいませんが）していたわけです。

支援も同じです。利用者さんに対する支援の内容や方法は、サービス計画書やマニュアルなどに細かく決められています。例えば「歩行」という項目には、「①靴への交換確認、支援。帽子の着用②外に出て玄関前に整列するよう声掛け誘導③人員確認④歩行誘導、支援（サポーターの着用）」という記述があります。その通りに行われていますが、いつも何人かの利用者の靴探しに手間取っているようです。記名されていない靴があるからです。下駄箱には名前も貼ってありますが、その通りに入っていると他限りません。帽子も本人のが分からずに、他の人の物を借りるときもしばしばです。靴を新しくしたら必ず記名をする。棚の名札と同じところに置く。それをするだけで毎回の手間が少し省けます。「名もなき支援」とでも言えるこのような小さな仕事、実はそういうことが沢山あって、それを支援員が自覚的に遂行しているか否かは支援レベルに大きく影響していると、私は考えています。その「名もなき支援」の一つ一つは短い時間で済むことばかりです。それを誰かがしないと、代わりの誰かがしなければなりません。誰もしなければ大きな手間と時間がかかる仕事として膨らんでいきます。今年度の重点目標は「今できることを共に」です。これは何も「せーので一斉に何かをやりましょう」といったことばかりではありません。「今日の前にある小さな仕事、手間を厭わず誰もがしていくこと」もそれに入ります。その点ではまだまだ道半ばです。私も次の買物からはトイレットペーパーを棚に仕舞うことにしようと思います。

サービスの現場より



『創造の力を養う』
茶山寮管理課長 若田 雅哉

今年度より管理課長へ就任致しました。平成五年より事務、経理、運営管理等に携わり三十年が経過しました。利用者の皆さんを始め、たくさんの方達との出会いが自身の成長に繋がっていると「感謝」しています。感謝の気持ちを胸に業務に努めます。

事務をしていますとコンピューター（PC）と毎日のように向き合い、当たり前のように扱っていますが、三十年前はワープロが主流で、この「機関紙あゆみ」も手書きの記事をワープロに打ち、写真を見定め、スペースを空け切り貼りし印刷していました。文字等の間違いなどが何故かできあがった後に見つかりよくやり直しました。一つひとつの工程に現在の三〜四倍の時間が掛かっていたことが本当に懐かしいです。導入当初のPCやデジタルカメラ機能の驚きは今でも忘れられません。現在はPC、ドローン、携帯等の日々の進化は想像を絶します。アニメや映画ではPC（ロボット）の進化により人間がAI等に支配されるという恐ろしい内容のものもあり、進化ペースを考えるとこの先あり得ない話では無いような気もしてきます。

今後の茶山寮発展を創造しますと「DX」化（デジタルトランスフォーメーション）の略称で、デジタル技術によって、ビジネスや社会、生活の形やスタイルを変えること）も視野に考えなければなりません。理念の「明るく、素直に、仲良く」と、どう融合し、利用者の皆さんの生活の安全と支援スタイルにどう繋げていけるのか創造する力も問われる時代だと思えます。



『担当利用者への取り組み』
茶山寮支援員 中原 愛

昨年九月からOさんを担当させていたおかげです。Oさんは、食事の片づけや掃除、雑草作業に参加され何でも手伝ってくださいます。「いつもありがとうございます。助かります。」の声掛けに「よかよ。私がするけん」と快く行ってくれています。支援内容に季節にあつた好きな花を定植し、達成感と意欲の向上につなげていくことと上げています。先日外出しホームセンターで花を購入してきました。どんな花が咲くのか写真を見ながら三種の花を購入し定植しました。私が出勤すると毎日「水かけてくるね」や「今日は雨やけん水はやらんでよかね」等自ら進んで水やりを頑張ってください。又、一緒に定植しているSさんにも「水かけいくよ」とジョウロを持って声を掛けてくださいます。「見て。咲いたよ。」と教えてくださり「Oさんが毎日水を上げて可愛がってくくださるから綺麗な花が咲きましたね」の声掛けに「可愛いかね。又、水やるけん」と意欲向上に繋がっているように思えます。

昨年の作業功労者表彰で「水やりを頑張ったで賞」を受賞されました。今後も一緒にたくさんの方にチャレンジし一緒に達成感を味わい、意欲向上に繋がっていただけるような支援をしていきたいと思えます。



『担当利用者への取り組み』
第二茶山寮支援主任 柴田 玉子

私が担当させて頂いているKさんは、笑顔がとても素敵な方です。平成二九年に右足を痛め、それから歩行困難となり、車いすで生活をされています。本人からの排泄の訴えが無い為定時排泄を行っています。排泄のタイミングが合わずトイレでの排泄が上手くいかない時があります。失敗が減る様、排泄が確認された時には、排泄チェック表に時間を記録しています。それをデータ化する事で排泄の時間帯を把握し、排泄誘導を行い安心してトイレで排泄が出来る様、支援しています。他にも、排便を促す為に腹部マッサージ、こまめな水分補給等を行っています。又、時間を決めほふく運動にも取り組んで貰っています。やる気がないと動こうとされず、ゴロンと横になった状態でおられますが、車椅子から下り足を伸ばす事も大切な事なので、その時は見守りを行っています。上手くいかない事も多くありますが、今後も無理のない程度に身体を動かして貰い、排泄が上手く行く様支援していきたいと思えます。

『地域活動委員会』

苔山寮支援員 松山 憲士



地域活動委員会は広報誌あゆ

みの作成や地域の清掃活動（鈴木神社清掃・チャレンジ50・グリーンクリーン活動・一ノ瀬花壇管理）、ボランティアの受け入れ、オープンカフェの運営などを担当しています。その中で私が担当している行事の一つに地域の清掃活動であるチャレンジ 50 があります。チャレンジ 50 は三年前に天草のゴミを0（ゼロ）にしたいという想いから企画しました。活動場所は海水浴場や港などゴミが集まりやすい場所がメインとなっており、ゴミの種類は流れ着いた物や弁当殻、釣りゴミが多いです。年に数回同じ場所に行くこともありますが、同じ場所に行くことでゴミが減って行くことを実感できています。参加される利用者の方もゴミを見つけると「いっぱいある。」と楽しそうに拾って下さいます。又、それぞれの場所で地域の皆様のかいお声掛けが私たちの励みになっております。ありがとうございます。今後も地域の清掃活動は継続し、その他の行事に関しても新しいことへの挑戦、新規ボランティアの受け入れも目指して活動していきたいと思えます。

『入職して一年が経ち』

苔山寮事務員 萱野 豪



初出勤の日、緊張しながら出勤

したのですが、室内に入ったなら数名の利用者様から温かく歓迎してもらったことを今でも鮮明に覚えています。毎日迷惑をかける日々ですが、上司の方々のご指導により、多くのことを学ぶ機会に恵まれています。また、他職種の上司の方々にもアドバイスをいただき、施設を良くしていきたいと意欲を持つている職員が多く、毎日充実して楽しく仕事をしています。新人研修では、苔山寮の歴史や、仕事内容など学ばせて頂き、これから施設発展のために頑張ろうという気持ちが強くなりました。コロナが五類になり施設としての制限も緩和され、今年度から行事イベントが普段通り開催されるようになり、利用者様と向き合う機会が多くなっていく為、積極的にコミュニケーションをとりたいと思いが多く作れるようサポートしていきたいと思えます。最後になりますが、今後仕事していくにあたり、施設を中から支える職種なので、他職種の人たちがスムーズに業務を進められるように、自身の業務に尽力し周囲への配慮を欠かさないようにしたいと思います。苔山寮職員として、何事にも貢献できる人材になることを目指し日々精進していきます。

『入職して一年が経ち』

第二苔山寮調理員 宮崎 範子



こちらの施設で働き始めて早い

もので一年以上経ちました。私は調理員として日々奮闘しています。施設は調理に専念出来る環境の整った職場で、先輩方も分かりやすく的確な指導で今まで楽しく仕事に従事出来ています。業務内容は、利用者様の嚥下能力に合わせて何十種類の食事形態を管理栄養士の監修のもと調理提供します。中には好き嫌いがあり食べない方、アレルギーをお持ちの方、こだわりの強い方など色々な特性をお持ちの方がおられます。その対応も個々に合わせられた献立で提供します。

コロナ禍の中、施設も感染者が出てクラスターになりましたが、スタッフ一同感染対策を徹底し業務に励みました。私自身全てが初めての経験で、周囲の方々の真摯に業務に向き合う姿勢を見て沢山の刺激を受けました。又、利用者様とふれあう瞬間が限られているので中々コミュニケーションを取ることが出来ませんが、積極的に挨拶を交わし顔と名前を覚えてもらえる下膳時には沢山声を掛けて頂ける様になり、とても嬉しく思います。利用者様の一番大事な食の源を預かる一員として日々精進し頑張っていきます。

荅山寮



東向寺保育園交流会

6月2日



第三荅山寮



「また会いましょう！」

東向寺保育園 保育士より

交流会の帰りのバスの中は「明日も行こうよ。」「絶対また行こうね。」と、子供達は既に来年の交流会を楽しみにする会話で溢れていました。コロナの波を乗り越え、四年ぶりに交流会を開催させて頂きました。子供達は楽しみにしながらも、「上手に発表出来るかな。」など少し緊張した表情で会場に入るなり目を輝かせて大喜び。可愛らしく華やかに飾り付けられた会場を見て一気に吹き飛んだ様子でした。発表が始まると、温かな手拍子で盛り上げてくださる皆様。「可愛いよ。」「上手だね。」とお声を掛けて下さったおかげで子供達は安心して元気に発表する事が出来ました。保育園を出る前の緊張の面持ちが嘘のような生き生きとした表情や、子供自ら利用者の方々に声を掛ける姿を見て交流会の僅かな時間の中で子供達は大きく成長したのだと実感しました。今回の交流会は、子供達にとって今後大きな自信に繋がることと思います。素晴らしい交流を経験させていただき本当にありがとうございました。うございました。



事業説明会・家族会総会 5月13日

久しぶりに御家族の顔が見られ利用者の方々も「〇〇さんとこのお母さんこらしたよ」と喜ばれていました。又、長年いらっしゃる利用者さんが新人職員に「〇〇さん所の人」と教えて下さる様子もあり微笑ましく感じました。利用者さんの生活を支えていく上で御家族のご協力は不可欠です。今後のご協力をお願いいたします。



『苔山寮令和五年度の家族会総会を開催して』

苔山寮家族会会長 金子彰泰

家族会総会も新型コロナウイルスの発生で四年ぶりの開催となりました。まず、三年間でお亡くなりになられた方の「黙とう」から始まり、飽田施設長から令和四年度の事業報告や五年度の事業計画、職員紹介が行われました。新しく入所された家族の方を含め、多くの保護者の方々の参加を得、総会を盛会に開催することが出来ました。職員の方も退職や新しく入られた方など、入れ替わりもあり、早く皆様方とお会いしたいと心待ちにしていました。今年の総会は国の新型コロナウイルスの扱いが五月八日からインフルエンザ並みの五類に変更されることが決まり、今年こそは是非とも開催したいとの強い思いから五月十三日の開催となり、利用者の方々も久しぶりに家族の皆さんと会えて沢山の笑顔が見られました。総会が無事開催できたことを大変嬉しく感じました。

苔山寮では「職員全員で全利用者の支援をする」「今できることを共に」をスローガンに掲げ、一人ひとりの利用者へ寄り添った支援を行ってまいります。豊かな個性を持った利用者。大変かと思いますがこれからもよろしくお願ひ致します。また、家族会としても皆様方との交流も活発に出来ればと思っております。今後とも家族会へのご協力をお願いと皆様様の益々のご健勝をお祈りし総会のお礼といたします。

【新利用者紹介】



そのだ けん と
園田 健斗さん
苓山寮

はじめまして



たむら しゆん
田村 俊さん
グループホーム
「つばさ」



やまぐち みずき
山口 瑞稀さん
苓山寮支援員



すぎたに
杉谷 さおりさん
第二苓山寮
調理員

【退所利用者】

五月八日にグループホーム「はばたき」から宇城市のグループホームへ移られました。お仕事も頑張ってください。今後のご活躍に期待しています。

【お悔やみ】

開田 キミエさん (苓山寮)
藤井 良雄さん (第二苓山寮)

長年、当施設を利用してくださった、お二人の方がお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈り致します。



やまだ しんご
山田 伸吾さん
第二苓山寮
支援員



はなだ まさる
花田 勝さん
グループホーム
「かなで」



やまかわ こうた
山川 幸太さん
グループホーム
「かなで」

第十九回 天草花しょうぶ祭り

西の久保公園

六月三日(土)〜六月十一(日)までの九日間、苓山寮・第二苓山寮で、地域活性と地域貢献を兼ねて参加させて頂きました。昨年までのコロナ期間を経て四年ぶりの開催となり、来場される方も多く賑わいを見せていました。開催前に九州北部地方も梅雨入り宣言が出されましたが、初めの土日は天候にも恵まれ暑い位の気候の中、スタートとなりました。

施設出展ブースでは、陶器や乾燥椎茸の他、冷たい飲み物も良く出ていました。販売に参加した利用者や見学に参加した利用者の方も施設を離れ良い気分転換の機会となりました。



【出産お祝い】

苓山寮支援員、中本さんにご長男誕生です。お名前は「悠陽」ゆうひくん(五月七日生)だそうです。新しいご家族を迎えられ幸せです。新しいことと思います。

いつばいのごいいます。おめでとうございいます。



行事予定

六月

- 十九日 チャレンジσ0
- 二十日 家族交流会
- 二十七日 第二回管内研修
- 二十八日 災害対応BCP訓練
- 三十日 亀川小学校福祉説明会

七月

- 二四日 チャレンジσ0
- 二五日 第三回管内研修
- 二六日 不審者対応訓練

八月

- 六日 愛藍ピック



編集後記

梅雨に入りジメジメとした日が続いておりま
す。さて、今年度に入り最初の発行となりましたあゆみ一七一号。コロナウイルスが五類となり、家族会総会や東向寺保育園交流会などの行事や花菖蒲祭りが例年通り開催されました。私は入職して五年目になりますが、ここ数年コロナウイルスの対応もありご家族の方とお話しする機会が中々ありませんでした。今後は家族交流会なども予定されていますのでよろしくお願
いします。そして花菖蒲祭りも開催され私も販売会の店員として参加してきました。先日カー
ネーションを知らず女性職員の
皆様に怒られた私ですが・・・
(笑)。菖蒲の花すっかり覚えさ
せていただきました。

